

■新松田駅周辺地域まちづくり協議会（第7回）

- ・開催日時：平成30年11月20日（火）午前10時から
- ・開催場所：松田町民文化センター 3階 大会議室
- ・出席者：26名 委員20名（欠席1名）、事務局4名、委託業者2名
- ・傍聴者：なし

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議事

○議題(1) 事務局より、駅周辺整備基本構想・基本計画（案）について説明後、以下のとおり協議を行った。（説明部分は省略）

※Q：質問、要望、意見 ⇒A：回答

【委員】

- Q1：資料5頁（リフレット）にJRのガード部の拡幅とあるが、小田急線の10両編成の急行が停車した際に、踏切が遮断することによる交通渋滞についてどうなったのか。
例えば、快速・急行を止めるために駅ホームの延長や、小田原寄りに駅自体を移動することができないのかなど、1つの解決手段として、踏切の遮断を軽減するためにも、駅の位置を検討するなどこの計画に盛り込んだらいいのではないかと思う。
- Q2：公共サービスの例として役場の窓口、支所や図書館は、すごく漠然としている。
例えば、駅を利用する人が図書館の貸し出しを希望したものを駅で受け取れ、駅で返却できるなどの図書館機能の一部を集約施設で補うのも1つの方法ではないかと思う。
また、松田町が所有していない図書であっても、足柄上地域の他の自治体が所有している図書をリクエストによって取り寄せる窓口を置くなどの機能もあるかと思う。
- Q3：公共サービスについては、今後コンビニで住民票や戸籍謄本等が発行できるようになると、役場の駅前支所の機能が変わってくると思う。住民の方々は駅前に窓口があったほうがいいと思っけていても、今後のITの進展によって何を備えるかというのは変わってくると思う。
そういうことも意識しながら検討していただきたい。
- Q4：全体的な話として、今回の基本構想・基本計画はあくまでも交通網に着眼した話だが、「まちづくり」の観点から言えば、住民が住みやすい町として駅を中心に創出していく話ではないかと思う。今後は高齢者が増えてくるので、必ずしも駅を利用しない方々も出てくると感じている。つまり、駅に出てくるのはどういう場面かなど色々なことを考え計画していく必要があるのではと感じている。
駅周辺には足柄上病院があるので、高齢者の方の足柄上病院の受診は今後ますます増えてくると思う。そういう意味では、他の地域から足柄上病院へ来るために駅周辺に集まってくることも多く想定されます。そうした方々の動向なども意識しながら、まちづくりという面で、ハード面だけではなくてソフト面にも着目していただくような内容になればいいかと思ひます。
住民の方々に示していく中でいろいろなニーズが出てくると思ひます。それを、まちづくり課を中心として他の松田町の中のあらゆるセクションと連携を取ってやっていただければと

思います。

【事務局】

⇒A1～2：1点目の踏切の位置等につきましては、橋上駅舎や自由通路のことがありますので、ホーム全体の改築も可能性としてはある。今後小田急電鉄と検討していく課題であると考えている。

⇒A4：本計画は広場を中心としたハード的な面を書いていることが多いので、今後のご指摘のとおり、ソフト対策による住民への対応や今後のニーズを踏まえながら、先ほどのご意見の図書館に本をたくさん置くのが本当の図書館なのか、それとも検索機能と貸し出し機能を集中させるような図書館機能の一部を誘致するなど含め構想、計画に記載していきたい。病院へのアクセスについては、町が周辺地域を全体でまとめている構想もあるので、参考にしながら、ソフト面も構想及び計画に記載したい。

なお、後ほど説明するが、パブリックコメントを実施し、さらに意見交換会を実施して周辺自治会の方を含めて、全体の住民の意見交換会を開催しようと考えている。

【委員】

Q5：資料6頁（リーフレット）の新松田駅前広場計画について、前回の協議会でも申し上げたが、このバスロータリーの設計に関してはこれで進めるということでのよいのか。

【事務局】

⇒A5：詳細につきましては今後検討する要素はあると思っている。この計画はあくまで基本構想・基本計画であり、基本的な機能をお示ししているのご理解いただきたい。

【委員】

Q6：資料5頁（リーフレット）の小田急新松田駅南北自由通路に二重丸と一重丸があるが、この二重丸の位置は南北自由通路のイメージができるが、一重丸は何を意味しているのか。

【事務局】

⇒A6：二重丸の位置は、この構想・計画の中で駅周辺の回遊性を高めるために優先して進めていきたい南北自由通路という考えで二重丸にしている。一重丸の位置は将来的にさらに回遊性を高めていきたいという考えで、二重丸の南北の通路を補完するための計画として示している。

【委員】

Q7：資料7頁（リーフレット）に“交通のシームレス化”とありますが、主要事業に「接続ダイヤの設定」や「共通乗車券の発行」と記載されると、我々としても苦しい。共通乗車券はハードルが高く、JRやバス会社等と検討していく必要がある。

接続ダイヤの設定も、この事業ができることによって接続ダイヤも考えられると思うが、この計画の主要事業に入れられると、厳しいと思われるので、記載について検討いただきたい。

【事務局】

⇒A7：町として実施できる事業ではないので記載内容について検討する。

【委員】

Q8：資料9頁（リーフレット）の重点事業に“駅舎改良”とあるのですが、この駅舎改良はおそらく鉄道事業者の事業となるので、松田町がやる重点事業に挙げるのは少し違和感がある。

記載するのであれば、自由通路整備の段に、「小田急小田原線の南北自由通路整備、それに伴

う橋上駅舎化」などと記載したほうがよい。

【事務局】

⇒A8：承知しました。

【委員】

Q9：資料 10 頁（リーフレット）の重点事業の実現方針にも駅舎改良と入っているため、同様に「自由通路整備と、それに伴う橋上駅舎化」と記載したほうが良い。

【事務局】

⇒A9：承知しました。

【委員】

Q10：小田急の南北自由通路、橋上駅舎改良についてのスケジュールを見ると、「整備は駅前広場、集約施設の整備完了後」と書かれているが、南北自由通路と JR 松田駅方面へのデッキはセットで考えているので、一体的にやらざるを得ないと思うが、表記についてご検討いただきたい。

【事務局】

⇒A10：以前打ち合わせをした際に、駅前広場、集約施設の整備後では無理と伺っていたので、修正させていただきたい。

【委員】

Q11：資料 8 頁（リーフレット）に、「イメージであるため、詳細は今後の検討により変更となります」と書かれているが、当方でも他の行政と同じようなことをやっているが、行政と小田急電鉄である程度の合意が図れた段階で、パブリックコメントや図面ができていくものが通常だと思われる。

こういう施策には、前向きに協力していきたいと思っているが、橋上駅、南北自由通路が技術的に本当に可能か、まだ検討をしていない。「今後の検討により変更となる」というよりは、「関係者の合意が図られたものではありません」といったコメントがあると、ハレーションが少ないと思うが検討できないか。

【事務局】

⇒A11：別途調整させていただきたい。

【秋田谷委員】

Q12：先ほどの説明の中に、新松田駅南口に小田原方面行きのバス乗降場を設置する話があったが、整備が始まってから 10 年以上経過している。用地買収ができないという話を聞いているが、用地買収の進捗状況はどうなっているか。

【事務局】

⇒A12：用地取得率は 7 割を超えている。また、工事の進捗状況は半分ぐらいです。

【委員】

Q13：残りの用地買収の目途はどうか。

【事務局】

⇒Q13：地権者の方は一般の方であるため丁寧に交渉させていただいている。

【委員】

Q14：前回の交通部会でも言ったがバス乗降場の近くに案内所を設置したい。離れた場所ではバスの案内も出来ない。

【事務局】

⇒A14：先ほど申し上げたように、まだ基本構想・基本計画の段階ですので、今後個別に協議をさせていただきたい。

【委員】

Q15：今回の絵は完成図ではなく、今後調整するためのたたき台としての絵という位置付けか。

【事務局】

⇒A15：そうである。

【委員】

Q16：アンケートの結果が出ており、土地所有者 24 名、建物所有者 20 名と書いてあるが、駅周辺全ての地権者ということか。

【事務局】

⇒A16：資料 24 頁（本編）の赤点線の範囲の地権者、建物所有者、テナント経営者に意向調査を実施した。富士急の操車場から県道までと小田急線と JR 線の間範囲である。

【委員】

Q17：県道も都市計画決定するのか。また踏切は都市計画決定の際にどのような計画になるのか。

【事務局】

⇒A17：県道を都市計画決定する目的は、駅前広場等を都市計画決定していくため、それと連携する道路ということで県道の 711 号を南側の御殿場大井線までしっかり整備するという考えで都市計画決定をしていく計画としている。

また、小田急線の踏切は JR 御殿場線のガードが近接しており、道路に高低差もあるため、地形上立体交差等は不可能であると考えている。

今後都市計画決定をしていくにあたって、関係部署としっかり調整をしていきたい。現在協議している中では、この踏切の立体交差化等の指摘は関係部署からは受けていない。

【委員】

Q18：資料 5 頁（リフレット）の道路幅員についてですが、ロマンス通りはなぜ 11m なのか。歩行者の利用状況から他の町道と同様の幅員で検討できないか。

【事務局】

⇒A18：ロマンス通りは歩道幅 2.0m、その他の町道は 2.5m で計画しているため幅員の差が生じている。ご指摘のとおりロマンス通りも 12m の道路幅で検討する。

【委員】

Q19：資料 22 頁（本編）の図がずれている。

【事務局】

⇒A19：修正します。

【委員】

Q20：資料 8 頁（リフレット）のイメージ図で、新松田駅の橋上駅舎から北口のバス乗降場へ下りる階段とエレベーターがあるが、この歩道幅では収まらないと思う。また JR 松田駅側に下りて

いく階段とエスカレーターがあるが、ロマンス通りから JR 松田駅に行く歩道がなくなって
しまう。また JR 松田駅からロマンス通りへ向かう人が通行できない図になっている。その
歩行者ルートを確認した図に直していただかないと機能しないと思う。

もう一点、新松田駅側からロマンス通り方面に下りていこうとする階段にエレベーターも記
載されているが、平面計画図にその記載がされていない。その整合性はしっかりとってほし
い。見る人は見ると思いますのでよろしくお願ひしたい。

【事務局】

⇒A20：承知しました。

○議題(2) 事務局より、再開発事業意向調査結果（関係権利者、民間事業者）、今後の事務
の流れについて説明後、以下のとおり協議を行った。（説明部分は省略）

※Q：質問、要望、意見 ⇒A：回答

【委員】

Q1：町民からすると、パブリックコメントを求められる議案が多い。総合計画や小学校の建設の
パブリックコメントなども実施している。この前は他のアンケート調査等もありこれらが煩
雑となっている。町民がパブリックコメントの内容についてどの程度理解しているのか、我々
自治会の者としては心配である。

【事務局】

⇒A1：ご指摘のとおりであり、最近意見を求める場面が少し多いという印象もある。

今回のパブリックコメントについては町広報の1月1日号の中で日程や時間を入れたもの
をお知らせし、自治会全体にお配りできればと考えている。

皆さんの希望に近づけるような形で努力したいので、よろしくお願ひします。

【委員】

⇒Q1 について：

全体像を示してプロジェクトが動いていて、そのうちの「このプロジェクトをパブリック
コメントで求めています」というような言い方をするだけでも、少しは関連して考えても
らえて、把握もしやすいと思う。メッセージをどのように住民の方に出すかというのはす
ごく大事だと思う。

こんなに良いプロジェクトができてきて、町も色々変わっていくと思うので、そういった
手法も少しご検討いただきたい。

以上